

シリーズ
原発・いのち・みらい
その74

国連科学委員会
(UNSCEAR)

福島報告書は信頼できない

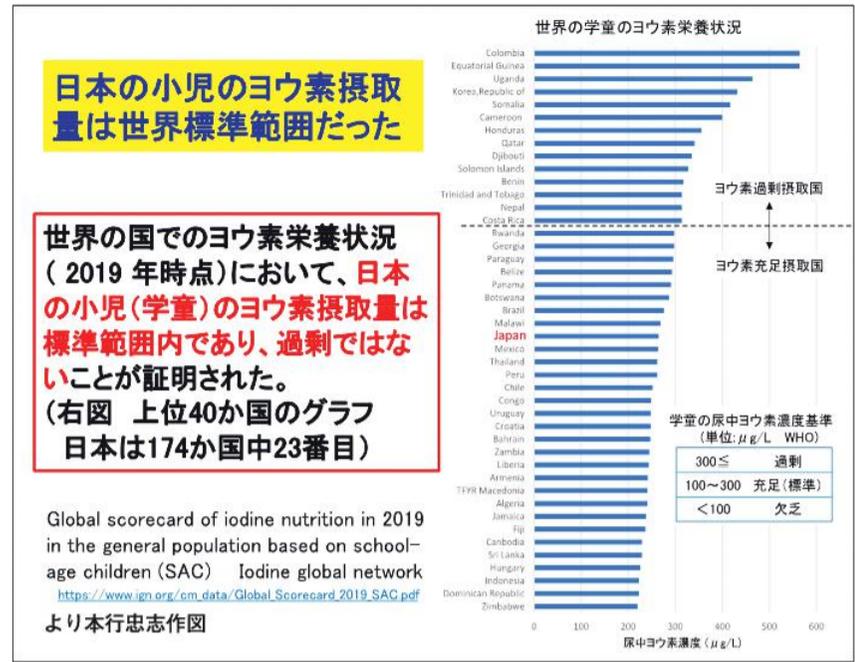
林 衛 (富山大学学術研究部教育学系准教授)

原子放射線の影響に関する国連科学委員会(UNSCEAR)は、2021年3月に東電福島原発事故の健康影響に関する報告書(福島報告書)の先行版を、2022年3月に日本語と英語で確定版を公表。その後、根拠をまとめた附属書(英語)を5月までに公表した。

この報告書は、先行版公開時にはやばやと「放射線による被曝影響はみられない」という見解を述べ、先行版公開前に、報告書に疑問を持つメンバーが呼びかけて「UNSC

被曝起因性否定の根拠に誤り

林 衛



今回重視した質問点の一つが、「日本人は伝統的にヨウ素を多く含む食事をしており、1日に数万µgの安定ヨウ素を含み、世界平均より約2桁大きい」と(報告書パラグラフ148)として、ヨウ素被曝の係数を半分にした計算の根拠の誤りであった。引用文献を検討しても、「世界平均より約2桁大きい」とする根拠はない(図参照)。

反対に、最近のヨウ素摂取の研究で日本人児童の摂取量が「標準」範囲である事実も、福島「県民健康調査」で報告されている実測値がそれと同等だという事実も、なぜか、UNSCEAR報告書には盛り込まれていないのだ。いわき会場での回答は、「鈴木元博士から代謝モデルの説明を受けた」(パロノフ委員)などであった。

ほかの質問論点についても、日本側から提供された情報をファクトチェックせずにそのまま報告書に盛り込んでいるらしいとわかる回答だった。ヨウ素代謝モデルだけでなく、気象モデルを誤用した被曝量の推定値も過小評価されているとの指摘に対しては、「気象モデルは専門が異なるが、東大や原研の賢者うな研究者から説明を受けている」などとパロノフ委員が回答。

ファクトチェックもしていない?

また、日本側情報提供者として名前があがっている明石真言氏(元「県民健康調査」検討委員)や鈴木元氏(「県民健康調査」甲状腺検査評価部会長)が長崎被曝体験者訴訟の政府側証人であるのをご存知か、UNSCEARの「独立」とは被害者からの独立なのかと問えば、「知らなかった」と驚き、「日本側の問題」と提起して返したのがハラス前議長。日本側情報提供の偏りや誤りをチェックせずにまとめたUNSCEAR委員たちの発言は率直だった。

報告書作成のための資金として日本の外務省が7000万円を拠出、情報提供をする日本側研究者のための研究費は環境省が放射線の健康影響に係わる研究調

独立性に欠けた報告書

林 衛

福島「県民健康調査」実測値は大多数が200前後であり、前スライド本行資料と同等

表7.尿中ヨウ素データ (µg/day)

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし、悪性疑い 116人	42	129.5	216	369.8	6,020
その他 1,969人	24	119	195	364	35,700

県民健康調査「甲状腺検査(先行検査)」結果概要【平成28年度追補版】から尿の1日平均量は1リットル前後(10歳児で0.8、成人で1~1.5リットル程度)

- UNSCEARは、福島報告書作成にあたり、福島の実態をふまえていなかった。
- その代わりに、小規模なヨウ素代謝の実験結果をもとにした、「県民健康調査」甲状腺検査評価部会長の鈴木元氏包括研究プレゼンがヨウ素被曝の係数を半分にする根拠とされたのもわかった。
- 日本側は、鈴木氏もUNSCEAR日本代表でもあった明石氏も、「県民健康調査」実測値を情報提供していなかったのだ。

第32回 反核医師のつどい in 兵庫

非核「神戸方式」を世界へ

非核「神戸方式」とは…1975年の神戸市議会による核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否決議にもとづいて、神戸港の管理者・神戸市長が「核兵器を積んでいない」証明書(非核証明書)の提出を軍艦に義務づけた方式。47年間、核保有国フランスを含めて8カ国20隻の軍艦が非核証明書を提出しましたが、米軍艦は一隻も入港していません。

2022年
9.24 土

@ 金沢サテライト会場 国連核兵器廃絶デー記念企画
石川県地場産業振興センター
新館5階 第12研修室
【定員】50人 【申込み】同封のチラシ参照

参加費

医師・歯科医師	5,000円
医療関係者	2,000円
医歯学生・看護学生	1,000円
一般	無料

- 14:30~ 開会
- 14:40~ ウクライナ危機から見る「核抑止力論」と「NPT体制」の問題点 -今こそ核兵器禁止条約を全世界に
講師: スージー・スナイダー氏 (ICAN「核兵器廃絶国際キャンペーン」)
報告: 松井和夫氏 (近畿反核医師懇談会「核兵器に投融資をするな」"DBOB"キャンペーン事務局長)
- 16:50~ 「核共有」「核武装」「憲法9条改憲」で日本を守ることができるのか
-非現実的な「現実主義者」たちの主張 講師: 安齋育郎氏 (立命館大学名誉教授)
- 18:00~19:00頃 非核「神戸方式」を全世界に 講師: 梶本修史氏 (兵庫県原水協事務局長)

反核医師のつどい in 兵庫主催 第32回 核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める 医師・医学者のつどい実行委員会

金沢サテライト会場主催 核戦争を防止する石川医師の会 電話 076-222-5373・FAX 076-231-5156

査事業の枠をもうけ、鈴木元氏を代表者とする包括研究が重ねられてきた福島報告書。スポンサーの期待に大きく、科学的には信頼し